

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
400MHz 帯災害対策用可搬型無線システム作業班(第1回)
議事録(案)**

1 日時

平成 27 年 6 月 22 日(月) 14:00~14:30

2 場所

中央合同庁舎第 2 号館 総務省低層棟 1 階 共用会議室 4

3 出席者(敬称略)

主 任 : 三谷 政昭

構 成 員 : 伊藤 泰成、岩本 宏、牛丸 今男、(代理)立野 哲也、小竹 信幸、
小山 祐一、加藤 数衛、金澤 昌幸、川瀬 克行、岸 博之、酒井 浩介、
谷澤 正彦、中村 宏之、橋本 昌史、平川 洋、守山 栄松、山崎 高日子
事務局(総務省): 寺沢課長、臼井課長補佐、黒田マイクロ通信係長、中山官、酒井官

4 配布資料

資料 1-1 400MHz 帯災害対策用可搬型無線システムの高度化等に係る技術的条件の検討開始

資料 1-2 作業班の運営方針(案)

資料 1-3-1 400MHz 帯災害対策用可搬型無線システムの概要について

資料 1-3-2 400MHz 帯災害対策用可搬型無線システムの概要について

5 議事

(1) 400MHz 帯災害対策用可搬型無線システムの高度化等に係る技術的条件の検討開始について

事務局から資料 1-1 に基づき説明を行った。

(2) 作業班の運営方針について

事務局から資料 1-2 に基づき説明が行われ、案の通り了承された。

(3) 400MHz 帯災害対策用可搬型無線システムの概要について

日本電信電話株式会社から資料 1-3-1、株式会社ユビテックから資料 1-3-2 に基づき説明が行われた。なお、具体的な質疑等は以下のとおり。

三 谷 主 任 : 資料 1-3-1 について、データ通信提供方法を検討中とあるが、どのような検討をされているか。

中 村 構 成 員 : 現行の伝送容量だと、大きな避難所にサービスを提供するとキャパシティが足りないことが想定される。また、データ通信の使い方にも色々な優先順位が存在し、例えば、避難所で利用する重要通信や一般利用者向けのサービス提供など。どのようにサービスを提供していくか、検討しているところ。

三 谷 主 任 : チャンネル配置について、音声通信用とデータ通信用で振り分けることを考えているのか。

中 村 構 成 員 : システムの機能としては、音声及びデータ通信の優先制御が可能。その上で、

時系列等を含め利用シーンによって使い分けることを考えている。

- 加藤構成員 : 公共業務用は、どの範囲まで利用機関を認める想定か。
- 事務局 : 公共業務用であるが、地方自治体を想定している。
- 加藤構成員 : 400MHz 帯はよく飛ぶので、複数の自治体をまたぐ可能性もあると思うが、そこはどうか。
- 事務局 : 距離の問題は、明確な回答がないので、この場でよく議論していただきたい。
- 三谷主任 : 全3回の作業班で、特に念入りに議論したい部分について希望があると思う。そのようなシナリオについて伺いたい。
- 中村構成員 : NTT としては、電話、通信等インフラの復旧をいち早く行うことが義務と心得ている。それが、システムの変更によってできなくなることがないようにしたいと考えている。
- 伊藤構成員 : 資料 1-3-2 について、技術的条件にシーン1と2があり、シーン1の占有周波数帯幅は 125kHz とされている。一方、資料 1-1 では、300kHz かける8チャンネル利用できるという絵があるが、この中に狭帯域のシステムを盛り込むという考えがあるのか。
- 酒井構成員 : ニーズから求めた2つの利用シーンのうち、比較的高スループットの用途であるシーン1について 64QAM でチャンネル幅が 150kHz、占有周波数帯幅は 125kHz あればニーズに対応しており、周波数利用効率を高めるために 300kHz に2チャンネル配置できるようにした。
- 伊藤構成員 : 占有周波数帯幅が、狭帯域の 125kHz で必要十分という回答をいただいたが、利用シーンを見るとリアルタイムでの映像伝送と書いてあり、このような災害時に利用できるのであれば、もっと高画質のものを送れるように広帯域にしておけば、より効率的と考える。
- 酒井構成員 : 実機試験を実施する上で、64QAM の装置については増幅器の直線性が要求されるなど装置製造上の難易度が高く、1年目に挙げた装置の課題を2年目に改修して検討を行う必要があった。
- 伊藤構成員 : 技術試験事務の結果としてできなかったということであり、可能性まで否定するのはどうか。
- 酒井構成員 : 可能性はある。

(4) その他

事務局から 8 月に次回委員会を開催予定であるとの説明が行われた。

(閉会)